

IV 事業概要 2 学校教育事業

(3) 自由研究の進め方を学ぼう！

小・中学生を対象に、実験・観察・研究の進め方や、科学工作・標本の作り方などについて基本的なことを説明し、計画的に取り組むきっかけをつくるとともに、科学への関心を一層高める機会とすることをねらいとして実施した。26年度より、参加者の増加に対応するため、2日間同じ内容で実施している。今年度は、学校行事との兼ね合いもあり、2日間の参加者数は、1,199人（前年1,270人）であった。

期 日	時 間	内 容	対象学年
6/30 (土) ・ 7/1 (日)	10:00～10:30	「りかけんきゅうのすすめかた」	小学校低学年(1～2年)
	10:00～10:45	「理科研究のすすめかた」	小学校中学年(3～4年)
	11:15～12:15	「科学工作について」	小・中学生
		「植物採集と標本の作り方」	小・中学生
	13:00～13:30	「りかけんきゅうのすすめかた」	小学校低学年(1～2年)
	13:00～13:45	「理科研究の進め方」	小学校高学年(5～6年) 中学生
14:15～15:15		「昆虫採集と標本の作り方」	小・中学生
			「岩石・鉱物・化石の採集と標本の作り方」

<小学校低学年・中学年対象>

研究テーマの選び方や決め方、研究計画の立て方と進め方、研究で大切なこと、研究のまとめ方などについて低学年・中学年それぞれの学年に応じた資料を準備し、具体的に説明した。

低学年では、研究の進め方に関するクイズをしたり、顕微鏡での観察の仕方を学んだりした。中学年では、テーマの選び方や計画の立て方について科学的な観察の基本を説明し、ムラサキキャベツの液などを使った水溶液の色の変化を観察した。

<小学校高学年・中学生対象>

研究テーマを見つける手立てやテーマを決める際の注意点（何を明らかにしたいのか、これまでどのようなことが研究されているのか）について、備長炭電池を例に説明した。さらに、実験・観察を進める時の注意点や考察を深めるポイントを説明し、実際に備長炭電池を作って電流の強さを変える条件について解説を行った。最後にわかりやすくまとめる方法を確認した。

<標本・科学工作>

前年度と同様、ラベルの作り方や様々な道具の用途、使用上配慮すべき点などの基本を押さえつつ、モデルを用いての実技を取り入れ、座学のみにならないよう工夫した。安全性や数が減っている生き物に対する配慮等にも気を配るように説明した。

